



2022 年度
第 35 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

[声明書]

反省なく自己否定する
文化体育観光部を
糾弾する！



スポーツ人権研究所
文化体育観光部批判
革新委勧告再検討は
無責任



「崔スクヒョン法」その後

スポーツ倫理センター
懲戒権限も持つべきだ



シム・ソクヒ選手の
携帯メールを公開した
チョ・ジェボム元コーチ
の家族を起訴



イ・ヨンハ、
キム・デヒョン起訴
プロ野球の学校暴力
再び水面上に

あらゆる差別に
最後まで立ち向かった
英雄の
荘厳な退場



01 【声明書】 反省なく自己否定する文化体育観光部を糾弾する！ 学校運動部は少数の専有物ではなく、 すべての生徒に開かれたスポーツ空間でなければならない

文化体育観光部(以下文体部)は8月29日、報道資料を通じてスポーツ革新委員会(以下革新委)が勧告した「平日大会参加禁止など3つの勧告」に対して「現実とかけ離れた学生選手大会参加関連制度」とし、早期に改善策を用意すると発表した。これに対しスポーツ人権研究所、文化連帯、体育市民連帯は共同で文体部の今回の発表を強力に糾弾する。文体部の今回の判断は持続不可能な学校運動部の現実を歪曲しており、学生選手の学習権を侵害する処置だ。

学習権を保障するためには、平日大会の開催慣行から打破せよ！

文化体育観光部の判断どおり「出席認定欠席日数」が増え、平日大会が多くなれば訓練時間が増加し学生選手の授業欠損がより一層多くなることは自明なことだ。革新委が週末大会開催勧告をして数年が経っているにもかかわらず、体育団体はこのためのいかなる努力もしなかった。平日大会の禁止と週末大会の開催で試合が減れば、すぐにでも専門体育が駄目になるように騒いだ。この2年間、世界的な伝染病で大会が一度も行われていない種目が続出しても決して滅びなかった。体育団体が大会を開催すれば、やむを得ず参加しなければならない学生選手の現実を人質に、学生選手のためのいかなる努力もせず、平日大会の開催慣行を今まで叫んでいる。

学生選手の学習権を保護しなければならない政府機関で、むしろ体育団体と利害関係者の主張をそのまま繰り返した文体部の今回の発表に深い遺憾を表明せざるを得ない。憲法に保障された学習権保障の責務を無視したまま進行される今回の発表は教育部の「勉強する学生選手」養成政策とも正面から反する主張だ。したがって、今回の発表は文化体育観光部のスポーツ改革に対する国民的不信感をさらに高める出発点になるだろう。

また、革新委は他の部署ではなく、まさに文体部傘下に設置された民官が共に参加した委員会だった。スポーツ界の膿んで爆発した反人権的な実態を改善するために、たいへんな努力と数多くの議論を経てスポーツ界革新のための勧告案を提示し、文化体育観光部と教育部次官が参加して署名した文書だ。それでも今になって文化体育観光部が革新委勧告案を現実とかけ離れたと卑下する行動はあまりにも無責任だ。なぜ改革が止まって逆に進んでいるのかに対する正確な反省もなく、時流に便乗した無責任な今回の発表は、スポーツ界の反人権的な実態を黙認することを越え、さらに加重させることになるだろう。

学校は職業選手ではなく学生を育てる所だ！

「出席認定日数縮小および学期中の平日大会禁止」勧告はシン・ユビン、キム・ナヨン、チョ・セヒョク選手のように職業選手になる学生ではなく大多数の職業選手になれない学生選手たちに憲法に基づいた「学習権」を保障するためのものだ。この数十年間、学生選手たちは専門体育人材早期育成という名分によって運動部加入と同時に選手登録をしなければならず、体育特技者として別途管理されながら訓練と大会出

場を理由に授業を抜けることを当然視してきた。競技団体は平日大会の開催はもちろん、小学生から一般の部まで一度に参加する大会を自分たちの都合で開催してきた。

しかし周知のように、全体学生選手のうち職業選手になる確率は10%に満たない。それさえも職業選手でも平均引退が23歳であり、引退後41.9%が無職で、就職をしても46.8%は1ヶ月に200万ウォンも稼げない。大韓体育会が把握した大韓民国専門体育の現実だ。文体部はごく少数の職業選手を養成するために大多数の学生選手の学習権侵害を助長し、それによって他の職業を準備しなければならない大多数の学生選手の基礎素養の機会を剥奪する機関に転落するのだろうか。

週末大会転換に使われる予算を縮小するという文体部の自己否定も問題だが、より衝撃的な事実は大韓民国政府部署で憲法に保障された教育を受ける権利「学習権」を「運動権」というありえない概念と同級で扱ったという点だ。歴史に長く残る恥ずかしい発表に違いない。授業を抜けても「訓練して大会に参加」すれば出席と認めるのは正当なことか。一般国民に聞けば何と答えるかあまりにも明らかではないか。学歴によって進級と卒業の基準を公正に判断しなければならない教育機関で、運動さえすれば進級と卒業をさせるという前近代的発想をいつまで見守らなければならないのか惨憺たるものだ。

2022年9月1日

スポーツ人権研究所、文化連帯代案体育会、体育市民連帯

02 聯合ニュース 2022.09.02

スポーツ人権研究所、文化体育観光部批判「革新委勧告再検討は無責任」



スポーツ人権研究所と文化連帯代案体育会、体育市民連帯は、スポーツ革新委員会（革新委）勧告案を再検討すると発表した文化体育観光部を糾弾すると発表した。

3団体は2日、報道資料を通じて「文化体育部の判断は持続不可能な学校運動部の現実を歪曲している」とし、「合わせて学生選手たちの学習権を侵害する処置」と批判した。

合わせて「平日大会が多くなれば訓練時間が増加し学生選手の授業欠損がさらに多くなるだろう」とし「学生選手の学習権を保護しなければならない政府機関が体育団体と利害関係者の主張をそのまま繰り返した。これに遺憾の意を表する」と強調した。

文化体育観光部の勧告案再検討方案は自己否定的な行為だと批判したりもした。

3団体は「革新委は文体部傘下に設置された委員会」だとして「今になって文体部が革新委勧告案を現実とかけ離れたとけなす行動は非常に無責任だ」と批判した。

文化体育観光部は先月 29 日、革新委勧告案の中で現実と合わない点があるとし、補完・改善策を出すと明らかにした。

特に▲出席認定日数縮小および学期中平日大会禁止(教育部)▲学期中平日大会の週末大会転換(文体部)▲少年体育大会改編(文体部・教育部)に関する勧告案は現実を反映できないとし、平日大会の週末大会転換支援事業縮小などの方法を検討すると発表した。

2019 年 2 月体育界人権侵害、別名スポーツ「MeToo」事件を契機にスタートした革新委は市民団体、スポーツ人権、体育界など民間委員と文化体育部、教育部、国家人権委員会、企画財政部、女性家族部など各部署次官が当然職委員として参加し 7 回の勧告案を発表した。

しかしユン・ソクヨル大統領は大統領選挙候補時代の 1 月、現実とかけ離れた革新委勧告案を再検討すると明らかにし、文化体育観光部は 6 月から革新委勧告内容を見直した。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220902102700007?input=1195m>

03 スターニュース 2022.09.03

「崔スクヒョン法」その後… スポーツ倫理センター、懲戒権限も持つべきだ



スポーツの長所であり存在理由は「公正」と「綺麗さ」だ。結果だけでなく、過程もそうでなければならない。しかし、誤った慣行と認識不足などによって体育界には依然として暴力と不法の暗い影が残っている。訓練中の苛酷行為、飲酒運転、そして校内暴力などが忘れた頃に浮上し、社会的問題にまで浮上している。スターニュースは創刊 18 周年を迎え、大韓民国「クリーンスポーツ」の現到達点

と問題点、改善方案などを 3 回にわたって探ってみる。

/スポーツ局

<特別企画:「クリーンスポーツ」どこまで来たのか>

① 「崔スクヒョン法」その後… 「スポーツ倫理センター、懲戒権限も持つべきだ」

”お母さん、愛してる。その人たちの罪を明らかにして”

2020 年 6 月、トライアスロン(鉄人 3 種)国家代表出身の故崔スクヒョン(当時 22 歳)選手が世の中に残した最後の一言は、暴力に鈍感な大韓民国スポーツ界に警鐘を鳴らした。

崔選手は 2017 年から 2019 年まで所属していた慶州市庁チーム監督、運動療法士、チーム先輩 2 人から苛酷行為で苦しめられた。対応をしなかったのではなかった。2020 年 2 月慶州市庁に申告したことを皮切りに、3 月には加害者 4 人を暴行などの疑いで告訴し、4 月には大韓体育会クリーンスポーツセンター、6

月には大韓鉄人3種協会に助けを要請した。しかし、各団体の対応は生ぬるいもので、崔選手はついに極端な選択をした。

国会は事件から2ヶ月後に「国民体育振興法一部改正法律案(別名崔スクヒョン法)」を通過させ、該当法案は2021年2月から改正施行された。また、文化体育観光部は傘下のスポーツ不正申告センター、大韓体育会クリーンスポーツセンター、大韓障害者体育会体育人支援センターなどを統合し「スポーツ倫理センター」を設立した。昨年11月には1年にわたる調査と法廷攻防の末に加害者に懲役4年と7年などの処罰が確定した。

体育人の人権保護を前面に押し出した崔スクヒョン法の核心はスポーツ倫理センターの役割だ。指導者の(性)暴力などスポーツ不正を知った場合、スポーツ倫理センターに申告しなければならない義務規定が新設され、主体的な役割を果たすべきスポーツ倫理センターの機能と権限が強化された。国民体育振興法によればスポーツ倫理センターは職権調査権、公務員派遣要請権、捜査機関申告・告発権、体育団体に対する懲戒要求権などの権限を持ち、調査に非協力的だったり偽りの応対が摘発された場合、文化体育部長官に懲戒を要求できるようにした。

毎年実施されるスポーツ倫理センターの教育を通じて、以前より暴力禁止に対する認識が広がった点は肯定的だ。スポーツ暴力と関連して着実に意見を出してきたパク・ヒョンエさん(46、体育学博士、スポーツ人権講師)は「(2年前と比べて)明確に認識が変わったことを感じる。以前は自分が経験したことが問題なのかに対する認識が足りなかった。(正確にどの部分が問題なのか)知りたくても知るすべがなかった。しかし、今は教育を通じてある部分が間違っているという認識が生まれた。周辺でも多くの方々が努力している」と話した。

スポーツ暴力関連窓口が一元化されたことも肯定的だ。スポーツ関連事件を扱っているハン・ミンヒ弁護士(39)は「過去には被害事実があった時、普通連盟や協会のスポーツ公正委員会を通じていた。それだけでなく大韓体育会、文体部などにも陳情を入れたりもしたが、団体ごとに解釈が異なり懲戒も千差万別だった。そのため、選手たちの不信が深かった。崔スクヒョン法を通じてスポーツ倫理センターに窓口が一元化されたことは肯定的だ。また、スポーツ暴力と不正について定義し、制度を整備したということは意味が大きい」と評価した。

しかし、依然として改善すべき点は残っている。2022年1月基準でスポーツ倫理センターの定員は初期26人から45人、調査人員は13人から30人に拡大したが、すべての苦情を消化するには人員が足りないという指摘がある。ハン弁護士は「スポーツ倫理センターが懲戒まで管理するなど業務領域が広がっているだけに、関連法令と規定の補完と整備が必要だ」と説明した。

また、スポーツ倫理センターは現在、各連盟および協会に懲戒要請ができるだけで、直接的な懲戒権限はない。依然として実質的な懲戒は各体育団体のスポーツ公正委員会を通じて行われる。この問題を解決するために発足初期から特別司法警察官導入の必要性が台頭したが、2年が過ぎた今も実現できずにいる。パク・ヒョンエ氏は「スポーツ倫理センターは懲戒を直接下せる機関ではなく、勧告だけができるため結局協会を経なければならぬ。この場合、協会が懲戒を受け入れなければ、(該当措置は)有名無実にならざるを得ない」と話した。

これに対してスポーツ倫理センター側は「限界を感じるよりは次第に累積するデータを通じて問題を改善し、機関が定着しつつあると見れば良いと思う」と答えた。

出典：<https://star.mt.co.kr/stview.php?no=2022090208142089397>

04 ハンギョレ 2022. 09. 04

シム・ソクヒ選手の携帯メールを公開したチョ・ジェボム元コーチの家族を起訴



ショートトラックのシム・ソクヒ選手の携帯メールなどを不法撮影および流布し「2次加害」をした疑惑を受けているチョ・ジェボム前コーチの家族1人が裁判に付された。

議政府地検南楊州支庁刑事1部（ソン・ジョンスク部長）は4日、性暴力処罰法違反の疑いでチョ元コーチの家族K氏を起訴したと発表した。K氏はチョ前コーチの弁護人意見書にあるシム・ソクヒ選手の携帯メールをマスコミに送った疑惑を受けている。当時配布された内容の中心選手の身体写真などが含まれていたことが把握された。

ただし検察はチョ前コーチとK氏など家族4人に適用された名誉毀損疑惑と関連しては不起訴処分した。シム選手が彼らの処罰を望まないという意見を出したからだ。名誉毀損罪は、被害者が処罰を望まなければ起訴できない反意思不罰罪に当たる。

先立って検察がデジタルフォレンジックしたシム選手の携帯電話資料を入手した後、私的なメールを不法に公開したのがチョ前コーチ側だという報道が出てくると、2次加害指摘が起きた。スポーツ人権研究所も昨年10月18日、「最高裁最終宣告を控えた被告人チョ・ジェボムが弁護人の引き止めにもかかわらず、裁判所に提出された弁護人意見書の内容をマスコミに流出した。チョ・ジェボムが裁判に係留された性暴力事件と関係のない被害者の広範囲な私的情報を赤裸々に言論メディアに提供した行為は不法であり被害者を傷つけることを通じた意図的報復であり明白な2次加害」と話した。

マスコミなどに公開されたこの携帯メールにはシム選手の同僚卑下と故意衝突疑惑などの内容が含まれた。これによりシム選手は昨年12月、同僚卑下などに関連して大韓スケート競技連盟から「国家代表資格停止2ヶ月」の懲戒を受け、北京冬季五輪出場が失敗に終わった。

一方、シム選手を相手に約3年間、性犯罪を犯した容疑でチョ元コーチは昨年12月、懲役13年が確定し服役中だ。

出典：<https://www.hani.co.kr/arti/area/capital/1057393.html>

05 ニューシス 2022. 09. 01

「イ・ヨンハ、キム・テヒョン起訴」 プロ野球の学校暴力、再び水面上に



プロ野球界で再び「校内暴力」問題が浮上した。高校時代、野球部後輩に校内暴力を加えたという疑惑に包まれた斗山ベアーズ投手のイ・ヨンハと、現在軍服務中のLGツインズ投手のキム・テヒョンが結局法廷に立つ。

先月8月31日、野球界によると、2人は最近、特殊暴行などの容疑で在宅起訴された。イ・ヨンハはソウル西部地方裁判所で、軍人身分のキム・テヒョンは軍事裁判所で是非を問う。

イ・ヨンハとキム・テヒョンの暴行論難が初めて浮上したのは昨年2月だった。両選手とも、現在まで暴行疑惑について否認しているという。

KBO リーグは判決結果を注視している。もしイ・ヨンハとキム・テヒョンが有罪判決を受けることになれば出場停止、制裁金などの懲戒を下す可能性もある。

これに対し数年前から学校体育の蔓延した暴力文化を根絶しなければならないという声が大きくなった。直ちに文化体育観光部（文化部）は、「校内暴力を犯した学生選手は選手選抜と大会参加などが制限され、被害者に対する考慮を中心に過去に発生した体育界の校内暴力に対して球団および協会などの処理基準を設ける」と明らかにした。

キウムヒーローズのアン・ウジンも過去、校内暴力に関わったことがある。2018年1次指名でキウムユニフォームを着た投手アン・ウジンは当時、大韓野球ソフトボール協会はアン・ウジンに3年間の資格停止処分を下した。3年資格停止処分を受けた選手は、五輪、アジア大会に国家代表として永遠に選ばれることはできない。

しかし、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）代表チームの選抜は可能だ。WBCは大リーグ（MLB）、日本野球機構（NPB）などプロが出場する大会なので、規定でアン・ウジンのWBC出場を防ぐ根拠はない。

NCダイノスは2021年、1次指名で選択した投手キム・ユソンの指名を撤回したりもした。

NCは「指名過程で過去の事実を几帳面に確認できなかったことに謝罪申し上げる」と公式立場を明らかにした。

当時、プロ入団が霧散した金ユソンは、今年再びKBOリーグ球団の指名を望んでいる。

しかし、プロ野球の校内暴力問題が再び浮上し、プロ入りは容易ではなさそうだ。

KBOは、文化体育観光部の「学校運動部暴力根絶およびスポーツ人権保護体系改善案」の履行によって、申請書とともに在学中の懲戒、負傷履歴を含め、学校暴力関連誓約書、高校生活記録簿を本人の同意の下に提出しなければならないという案をまとめた。

校内暴力と関連して嘘または虚偽の報告をした後、プロに入団する場合、KBOと球団の懲戒を避けられない。

出典：https://newsis.com/view/?id=NISX20220831_0001998047&cID=10502&pID=10500

06 京郷新聞 2022.09.04

あらゆる差別に最後まで立ち向かった英雄の荘厳な退場



女子テニスの偉大な伝説、セリーナ・ウィリアムズ（605位、米国）の「ラストダンス」が荘厳に幕を閉じた。彼女の最後の試合は華麗で熾烈だったテニス人生を縮約して描いた一本のドラマだった。

ウィリアムズは3日、米ニューヨーク・ビレッジ・キング・ナショナル・テニスセンターで行われた全米オープン女子シングルス3回戦で、アイラ・トムリアーノヴィッチ（46位、米国）に1-2（5-77-61-6）で敗れた。先月、米ファッション雑誌「ヴォーグ」とのインタビューで、今大会を最後に引退する計画をほのめかしたウィリアムズは、試合後、「私はオーストラリアが好きだ」という冗談で来年の全豪オープンの可能性を開いておくようだったが、「私の人生で最も驚くべき経験と旅程だっ

た。新しいバージョンのセリーナ、母親になるために準備する」とし、今回は事実上最後の試合だったことを示唆した。

ウィリアムズは、女子テニスの歴史で偉大な選手を挙げれば、3本の指に必ず入れる伝説だ。4歳の時、父親の勧めで1歳年上の姉ビーナスと一緒にテニスを始めた彼女は1999年、満17歳で全米オープンを優勝した後、20年以上世界女子テニスの頂点として君臨した。メジャー大会だけで23回優勝し、24回優勝したマーガレット・コート（豪州・引退）に続き、歴代2位の記録を持っている。プロ選手のメジャー大会出場が認められた1968年以降では最高記録だ。男子テニス記録保持者のラファエル・ナダル（スペイン、22回）より一度多い。

3時間5分かかったウィリアムズの最後の試合は、なぜ彼女が伝説なのかを示す名勝負だった。特に、セットスコア1-1で迎えた第3セットでゲームスコア1-5にリードされ、敗色が濃かったにもかかわらず、最後のトムリアーノヴィッチのサーブゲームの時、なんと8回もジュース接戦を繰り広げ、粘り強く食い下がる場面は嘆声を誘うに十分だった。

ウィリアムズはテニスの歴史において象徴的な存在だ。それよりも良い記録を出した選手はいても、コート外の影響力がそれより大きかった選手は皆無だった。彼女はテニス界の闘士だった。ウィリアムズはテニスを越えて全社会に黒人と女性の人権伸張に大きな功労を立てた。テニスは長い間白人のスポーツと呼ばれてきた。1958年全米オープンで優勝したアルテア・ギブソン（米国）を最後に、長い間黒人女子選手がメジャー大会でトップに立つことはなかった。しかし、1999年全米オープンを優勝したウィリアムズの登場で歴史が変わった。長期間執権したウィリアムズを見て育った黒人女子選手たちは、彼女をロールモデルにして「私もウィリアムズのようになれる」という夢を見始めた。特にウィリアムズは2016年「黒人の命は大切だ」(Black Lives Matter)運動が真っ最中の時に先頭に立って支持意思を表明するなど、選手生活中ずっと人種差別に積極的に立ち向かった。2001年、米インディアンウェルズで開かれたBNPパリバオープン決勝で人種差別が混じったヤジを聞き、14年間同大会をボイコットした。

彼女はメジャー大会男女同一賞金に関連した男子選手たちの攻撃にも先頭に立って立ち向かって戦った。2016年、ノバク・ジョコビッチ(セルビア)が男女同一賞金に不満を提起すると、「もし私に息子と娘がいるなら、私の息子に『あなたは男だからもっと多くのお金を受け取る資格がある』とは言わないだろう」と批判した。タイガー・ウッズ、レブロン・ジェームズ、ミシェル・オバマのような有名人が先を争って賛辞を送るのもこのような理由からだ。

出典：<https://www.khan.co.kr/people/people-general/article/202209042209005>

07 週刊スポーツニュース

「プロNジョブラー」水泳人、引退選手模範事例

<http://www.sportsq.co.kr/news/articleView.html?idxno=443091>

「スポーツレジャー施設を利用して景品をもらおう」…慶北アクティビティツアーイベント

<https://www.mk.co.kr/news/society/view/2022/09/785572/>

MZ世代ゴルフブーム…ネイバースポーツNゴルフも一緒に参加

<https://www.segye.com/newsView/20220902513489?OutUrl=naver>

69 のスポーツクラブ文化体育観光部が指定…体育施設使用料減免

https://newsis.com/view/?id=NISX20220901_0001999083&cID=10501&pID=10500

京畿道、10月にスポーツ体験イベント「DMZラン」を開催

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220831048800060?input=1195m>

「ソウルオウリム体育センター」着工…「公平なスポーツ参加保障」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220830047151004?input=1195m>

1600億ウォン台の不法スポーツ賭博サイトを運営した組織暴力団など大量検挙

<https://www.nocutnews.co.kr/news/5811222>

「今年の秋、全羅南道で安全な異色スポーツをお楽しみください」

<https://view.asiae.co.kr/article/2022090110060897004>

「120万水原市民のスポーツフェスティバル」第66回水原特例市体育大会開幕

<https://www.kgnews.co.kr/news/article.html?no=716528>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。

皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。

体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>